AI時代の論文急増と学術エコシステムの変容

AIによる投稿急増と学術界の混乱



2026年9月のarXiv投稿数が
過去最高の40,363件を記録

数学分野では前年同月比で
投稿数が約2倍に急増。



論文急増の主因は少量投稿を行う「新しい著者」の増殖

増加の67%は新規著者の参入によるもので、単独著者化も進行。



検証コストが査読者や読者に転嫁され負担が著しく増大

未検証論文の増加により、
質の高い論文の公衰運証が発生。

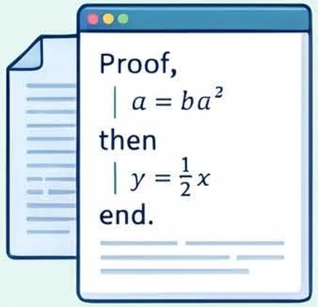
品質担保に向けた対策と今後の展望



暫定的な
「月2件制限」

「AI開示・形式検証」
の義務化へ

量の抑獗から、AI利用の明記や
学術基準攟守の確認へ移行。



数学分野におけるLean等を用いた「形式検証」の標準化

AIによる証明の信頼性を担保するため
コード検証が必須化。

論文数量に依存した評価体系の錣退と評価軸の再構築

「代表作の質」や「再現性・検証可能性」
への評価重視へ変化。

Gemini Notebook